

# 第38回 ギフアジア映画祭

## 上映スケジュール

スペシャル・イベント ジャズコラボ企画!  
《楽市JAZZ楽団 シネマジズLIVE!》 11/3(木・祝)14:00~ 会場:岐阜市文化センター 催し広場

オープニング特別企画 《第38回ぎふアジア映画祭 ポスター展》 10/28(金)~11/10(木) ハートフルスクエア-G 1F (JR岐阜駅隣接)

日付	時間	作品名(舞台になった国)	上映場所
11/5(土)	10:00	①台湾新電影時代(台湾)109分	文化センター 小劇場
	14:00	①恋恋風塵(台湾)110分	
11/6(日)	10:00	②恋恋風塵(台湾)110分	文化センター 小劇場
	14:00	②台湾新電影時代(台湾)109分	
11/10(木)	①14:00	シーヴァス~王子さまになりたかった少年と 負け犬だった闘犬の物語(トルコ)97分	CINEX(柳ヶ瀬)
	②19:00		
11/13(日)	①10:00	花、香る歌(韓国)109分	市民会館 大ホール
	②14:00		
11/19(土)	10:00	①幕が上がる(日本)119分	市民会館 大ホール
	14:00	①僕たちの家に帰ろう(中国)103分	
11/20(日)	10:00	②僕たちの家に帰ろう(中国)103分	市民会館 大ホール
	14:00	②幕が上がる(日本)119分	
11/22(火)	14:00	①ボーダレス ぼくの船の国境線(イラン)102分	文化センター 小劇場
	19:00	①オマールの壁(パレスチナ)93分	
11/23(水・祝)	10:00	②ボーダレス ぼくの船の国境線(イラン)102分	文化センター 小劇場
	14:00	②オマールの壁(パレスチナ)93分	
11/27(日)	①10:00	光りの墓(タイ)122分	文化センター 小劇場
	②14:00		
11/29(火)	10:00	①野火(日本)104分	文化センター 小劇場
	14:00	東京オリンピック(日本)170分	
	19:00	①ぼんち(日本)104分	
	10:00	②ぼんち(日本)104分	
11/30(水)	14:00	おはん(日本)112分	文化センター 小劇場
	19:00	②野火(日本)104分	
	10:00	①岸辺の旅(日本)128分	
12/3(土)	14:00	①菊豆(中国)94分 <small>恋スル名作</small>	文化センター 小劇場
	10:00	②菊豆(中国)94分 <small>恋スル名作</small>	
12/4(日)	14:00	②岸辺の旅(日本)128分	文化センター 小劇場

※各会場ともに満席になり次第、入場をお断りしますのでご了承ください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※開場は開演の30分前です。

### ぎふアジア映画祭ボランティア募集

ぎふアジア映画祭では、映画祭の当日の会場運営にご協力いただけるボランティアを募集しています。

**活動内容** 会場設営、受付、場内外整理、特別企画運営補助  
※10/24(月)の表方研修会(①14:00~15:00 ②19:00~20:00 ③②のいずれか)を受講していただきます。

**活動期間** 平成28年11月5日(土)~12月4日(日)  
※期間中、ご希望の日にちをご申告ください。

**申込方法** 所定の用紙に記入の上、FAXまたは郵送、窓口にて受付

**申込先** 岐阜市文化センター  
岐阜市金町5-7-2 tel:058-262-6200 fax:058-262-6229

**募集メ切** 平成28年10月11日(火)

### チケット案内

■入場料金 (前売・当日共) 全自由席

1回券	800円
3回券	2,100円
10回券	5,000円

平成28年9月8日(木) チケット発売開始  
※3回券、10回券は切り離して複数名でもご利用いただけます。

■チケット取扱い/岐阜市文化センター、岐阜市市民会館、長良川国際会議場、CINEX、フィールド、チケットぴあ(PCODE:466-893)、マサ21サービスカウンター、いしぐれ珈琲、NPO法人スマイルBasket、生活協同組合コープぎふサービスカウンター(長良店・芥見店)

※施設内に駐車場はございませんので、最寄りの有料駐車場もしくは公共交通機関等をご利用ください。

#### チケット特典

CINEX(岐阜市柳ヶ瀬にある映画館)において、11/5~12/4の期間内に上映される一般上映作品は、入場券購入時に「第38回ぎふアジア映画祭」の入場券を提示することで割引金額で購入することができます(割引額200円、半券可)。ただし、他の割引との併用はできません。

#### アクセス

JR名古屋駅 新快速で約18分 JR岐阜駅  
名鉄名古屋駅 特急で約25分 名鉄岐阜駅

お問い合わせ  
岐阜市文化センター  
〒500-8842 岐阜市金町5-7-2  
TEL:058-262-6200 FAX:058-262-6229

## 第340回市民の劇場

# 映アギ" 画祭ア



「光りの墓」/タイ



「幕が上がる」/日本



「岸辺の旅」/日本



「花、香る歌」/韓国



「台湾新電影時代」/台湾



「恋恋風塵」/台湾



「ボーダレス ぼくの船の国境線」/イラン



「オマールの壁」/パレスチナ



「僕たちの家に帰ろう」/中国



「シーヴァス 王子さまになりたかった少年と負け犬だった闘犬の物語」/トルコ



「菊豆」/中国

11.5 土 ▶ 12.4 日

ホムページ <http://gifuasias.com>

主催/(一財)岐阜市公共ホール管理財団、岐阜市 共催/岐阜土地興業(株)

後援/岐阜県、岐阜県教育委員会、(公財)岐阜県国際交流センター、岐阜県映画協会、(独法)国際交流基金 JAPAN EXCH. FUND

協力/韓国伝統音楽グループノリバン、アジアンティ-ハウス、いしぐれ珈琲、NPO法人 広河隆一非核・平和写真展開催を支援する会、(公財)日本タイ協会

スペシャル・  
イベント

《**楽市JAZZ楽団** 入場無料 シネマジャズLIVE!》

プロサクソプレーヤー野々田万照率いる市民ジャズビッグバンド《楽市JAZZ楽団》が、ぎふアジア映画祭のために(?)シネマ ジャズLIVEを開催! ジャズで楽しむ映画音楽の数々をお楽しみに。

平成28年11月3日(木・祝)14:00~ 会場:文化センター 催し広場 野々田万照氏



オープニング  
特別企画

《**第38回ぎふアジア映画祭**》ポスター展

今年の上映作品(11本)をポスターで紹介!します!

平成28年10月28日(金)~11月10日(木)  
場所:ハートフルスクエア-G 1F  
(JR岐阜駅隣接)

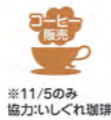
11/5±6日

台湾新電影時代 (台湾)

台湾映画  
ポスター展

時間 ①11/5(土)10:00  
②11/6(日)14:00

2014年/台湾/109分 ドキュメンタリー 監督:シェ・チェリン  
出演:ホウ・シャオシェン、ツイ・ミンリヤン、黒沢清、  
アビチャップボン、ウィーラセタクン ほか  
配給:オリオフィルムズ



※11/5のみ  
協力:いしくれ珈琲



©2016Central Pictures Corporation

それはここから始まり、今も息衝く。止むことのない波。

1980年代に台湾映画に起こった新しい潮流、革命とも言うべき「台湾ニューシネマ」。ここから生まれたホウ・シャオシェンら作家や作品は、その後世界の映画作家に多大な影響を与えた。台湾、タイ、フランス、アメリカ、香港、中国大陸、そして日本へと、あの時代に連なる時間をたぐり寄せの中で、光と陰、愛しさと切なさ、永遠と一瞬を思い出し胸が騒ぐ。まるで未だ見ぬ別の一本の映画のように美しい次々に現れる台湾映画の断片たちと、各国の名だたる映画人や芸術家へのインタビューで綴る、映画を想い、映画に集まれるドキュメンタリー。他の作品とぜひ併せてお楽しみください。

11/5±6日

恋恋風塵 (台湾)  
デジタル・リマスターバージョン

台湾映画  
ポスター展

時間 ①11/5(土)14:00  
②11/6(日)10:00

1987年/台湾/110分 監督:ホウ・シャオシェン  
出演:ワン・ジンウェン、シン・シュエフェン、リー・ティエンルー  
配給:熱帯美術館



※11/5のみ  
協力:いしくれ珈琲



1989年 キネマ旬報外国語映画部門第8位

初恋は風に消え、はかない想いが残る。  
侯孝賢(ホウ・シャオシェン)の「青春4部作」の掉尾を飾る傑作!

炭鉱町に生まれ育った少年と少女、やがてふたりは台北に出て働き始める。慣れない都会暮らし、うまくいかない仕事、若さゆえの未熟さを責める大人たちとの衝突、そんな数々の苦難もお互いの顔を見るだけで乗り越える勇気を持つことが出来た……。今更、説明する必要もないアジアだけでなく、世界の映画を代表する歴史的傑作。この作品から台湾映画は世界を席巻することになった。二度と戻らないかけがえのない日々を瑞々しく映画のかたちに封じ込めた奇跡。薄暮の山々を雲の影が渡っていく光景は凄絶なまでに美しく、かつてあった幸福の姿を思いとどめ、このうえなく悲しい。

11/10木

シーヴァス (トルコ)  
王子さまになりたかった少年と負け犬だった闘犬の物語

時間 ①14:00 ②19:00  
場所 CINEX(柳ヶ瀬)

2014年/トルコ・ドイツ/97分 監督:カアン・ミュージデジ  
出演:ドアン・イズジ、ムッタリップ・ミュージデジ、チャキル(シーヴァス)  
配給:リアリーライクフィルムズ

2014年ヴェネツィア国際映画祭 審査員特別賞受賞  
2014年ヴェネツィア国際映画祭 金のピサト賞受賞

2014年アブダビ国際映画祭 最優秀脚本賞・最優秀演技賞受賞

闘わない君を、いつか僕は見たいんだ。トルコ東部アナトリア地方の小さな村。少年アスランは、闘いに破れ置き去りにされた闘犬シーヴァスに心を奪われた。弱さも強さも晒け出し、その白い闘犬はやがてアスランの孤高の魂を威風堂々照らしはじめる。立ち塞がる世界に翻弄されてなお、がむしゃらに挑みかかる彼らの射るような目と、誇り高き佇まいが忘れられない、一人と一匹のハードボイルドムービー、ここに誕生。負けるな、アスラン。



©COLOURED GIRAFFES

11/13日

花、香る歌 (韓国)

時間 ①10:00 ②14:00

場所 市民会館 大ホール

2015年/韓国/109分  
監督:イ・ジョンピル  
出演:スジ、リュ・スンリョン、  
キム・ナムギル  
配給:  
CJ Entertainment Japan



協力:アジアティーハウス



©2015 CJ E&M CORPORATION, ALL RIGHTS RESERVED

私は唄いたい、愛したい。

朝鮮時代末期、女性が伝統芸能パンソリを唄うことは禁じられていた。少女チン・チェソンは、男と偽り、パンソリ塾に入る。夢を信じる少女と命がけで支えパンソリのすべてと愛を教えた師匠。澄みわたるチェソンの唄が美しく力強く響きわたる。チェソンは時代に翻弄され、波乱の人生を歩む。それは知られざる真実の物語である。



韓国伝統音楽鑑賞  
「ノリパン」ライブ!

時間 13:00~

「ノリパン」とは、ハングルで「遊びの場」という意味。  
来場されたみなさんにも体験していただけるプログラムを用意しています。  
朝鮮韓国伝統音楽グループ「ノリパン」のパフォーマンスをお楽しみください!



11/19±20日

僕たちの家に  
帰ろう (中国)

時間 ①11/19(土)14:00  
②11/20(日)10:00

場所 市民会館 大ホール

2014年/中国/103分  
監督:リー・ルイジュン  
出演:タン・ロン、グオ・ソンタオ、  
バイ・ウェンシン  
配給:マジックアワー



©2014 LAUREL FILMS COMPANY LIMITED

第39回香港国際映画祭ワールドシネマ部門招待 SIGNIS賞受賞  
ベルリン国際映画祭「クリスタル・ベア賞」受賞

夢は、父さんのように放牧をして生きていくこと。

舞台はシルクロード、河西回廊。はなればなれに暮らしていたユグル族の兄弟バーテルとアディカーは、町に近い祖父の家から、父と母が放牧のため移り住む遥か彼方の牧草地を二人で目指すことになる。広大な大地で、お互い反発しながらも共にゆく家路。そして先々で出逢う、過去や夢や現実。彼らの未来に思いを馳せて、果てしない現代へ私たちも旅をする。旅情を掻き立てる壮麗な風景、ラクダたちも素晴らしい、今を映す一本です。

11/19±20日

幕が上がる (日本)

時間 ①11/19(土)10:00  
②11/20(日)14:00

場所 市民会館 大ホール

2015年/日本/119分  
監督:本広克行  
出演:百田夏菜子、玉井詩織、  
高城れに、有安杏果、  
佐々木彩夏  
配給:ティ・ジョイ



©2015 O.H.K./F-T-R-D-K-P

第40回報知映画賞(2015年) 特別賞受賞

私は行きたいです、君たちと。行こうよ、全国!

ある地方都市、県立高校の演劇部。地区大会へ向けて練習に励む部員たち。どこにでもあるありふれた光景の中にひとりの教師がやってくる。少女たちに「切符」を渡すために……。劇作家・平田オリザの原作を基に、アイドル「ももいろクローバーZ」が、今、この瞬間しかない彼女たち自身のリアルティで演劇部員を演じた青春映画。演劇の持つ底知れない力に慄き、魅かれていく少女たちの息遣いまで捉えた傑作。舞台の上ならば、銀河鉄道の「どこまでも行ける切符」で宇宙の果てを目指すことが出来る。熱く静かに燃えることが出来る。そして、その炎はまだ燃えているのです。



11/22火・23水

ボーダレス  
ぼくの船の国境線 (イラン)

時間 ①11/22(火)14:00  
②11/23(水)10:00

場所 文化センター 小劇場

2014年/イラン/102分  
監督:アミルホセイン・アスガリ  
出演:アリのザ・バレディ、  
ゼイナブ・ナセルボア、  
アラシュ・メフラバン  
配給:フルモデルモ



© Mojtaba Amiri

2014年東京国際映画祭 アジアの未来作品賞受賞

2015年ソフィア国際映画祭 ヤング批評家賞受賞

2015年CMS国際子供映画祭 最優秀作品賞受賞

少年が過ごした争いのない特別な時間…  
今、イラン映画で最も注目される監督のデビュー作

国境沿いの立入禁止区域。放置された廃船で一人生活する少年。ある日同じ年頃の少年兵が乗り込み勝手にロープを張る。「船の半分は自分の陣地」とばかりに銃を持ち出し威嚇する。そんなある日、船の外では爆撃の音がし、船の中では赤ん坊の泣き声が…。そして新たな侵入者も…。



※11/23のみ

「特別上映会」

# 恋スル名作

*Kameba Kamehodo Ajigadesu*

リクエストが多かった作品の中から、1作品を上映します。名作映画をスクリーンでお楽しみください。

12/3(土)・4(日)

チユイ トウ  
**菊豆** (中国)

1990年カンヌ国際映画祭リュス・ブニュエル賞受賞  
1990年シカゴ国際映画祭グランプリ受賞

時間 ①12/3(土)14:00  
②12/4(日)10:00  
場所 文化センター 小劇場

1990年/中国/95分  
監督: チャン・イーモウ  
出演: コン・リー、リー・パオティエン、  
リー・ウェイ  
配給: ワコー



©徳間書店

巨匠チャン・イーモウが描く、美しくも残酷な物語が今、蘇る。



※12/4のみ  
協力: いしくれ珈琲

染物屋の老人・金山の元に嫁いだ若い娘・菊豆。子が出来ないのを菊豆のせいにして、金山は日夜折檻を繰り返した。同居する金山の甥・天青はそんな菊豆に同情し、思いを寄せていた。天青の気持ちに気付いた菊豆もまた、彼に惹かれていき二人は関係を持った。やがて二人の間には子どもが生まれたが、金山と菊豆の子として育てられた。しかし、金山は中風から半身不随の身となってしまう。映像美に酔いしれる、見逃せない不朽の名作。

## 優秀映画鑑賞推進事業 (Fプログラム)

市川崑監督特集

11/29(火)・30(水)

野火

11/29(火)

東京オリンピック

時間 ①11/29(火)10:00  
②11/30(水)19:00  
場所 文化センター 小劇場



1959年/大映(東京)/白黒/  
シネマスコープ/104分  
監督:市川崑  
出演:船越英二、滝沢修、  
ミッキー・カーチス

戦後の戦争文学に大きな足跡を残した大岡昇平の同名小説を映画化したものである。戦争末期のレイテ島の戦場。「大岡さんは原作の中で、大変大きなテーマとして神を登場させている。……映画ではむしろ神の問題を全部なくすことによって神を感じさせられる……だから原作では主人公が人肉を食うけれど、映画では食わない。……そこで人肉があまりに固いために歯がボロリと欠けるという具合に書き変えた。歯が欠ける、これが映画ではないだろうか」。ブラック・ユーモアを得意とし、才気煥発な監督ならではの弁である。

時間 14:00  
場所 文化センター 小劇場  
1965年/東京オリンピック映画  
協会/カラー/シネマスコープ/  
170分  
監督:市川崑



1964年に開催された第18回オリンピック東京大会は、スポーツによる国際交流の場を通して、わが国が世界にその復興を示した国家的規模の一大行事であった。この作品はそのメモリアル・フィルムとして市川崑監督以下、561人のスタッフで製作され、公開されるや空前の観客動員を記録し、12億を超える配給収入を上げた。またこの作品はスポーツの勝敗よりも、スポーツをする「人間」により多くの描写を費やしたため、「記録が芸術か」という問題を提起し、様々な議論を巻き起こした。これは作家市川崑としての一貫した姿勢でもあった。

11/29(火)・30(水)

ぼんち

11/30(水)

おはん

時間 ①11/29(火)19:00  
②11/30(水)10:00  
場所 文化センター 小劇場



1960年/大映(京都)/カラー/  
シネマスコープ/104分  
監督:市川崑  
出演:市川雷蔵、京マチ子、  
若尾文子

原作は山崎豊子の小説であり、大阪の商人もの一編である。舞台は大阪・船場。四代続いた裕福な足袋問屋の一人息子が、女系家族の中で甘やかされ、それゆえに悪戦苦闘する姿が、多彩な女性関係を中心にして年代記風に描かれている。登場するのは、自分を溺愛した祖母や母のみならず、これまで関係したさまざまな女性たち。彼女らを演じるのは、ベテラン、演技派、若手まで、みな当時を代表する個性的な映画女優であり、その競演が一つの見どころであると言えよう。また、主演の二枚目スター市川雷蔵は、老け役に初挑戦している。

時間 14:00  
場所 文化センター 小劇場  
1984年/東宝映画/カラー/  
ビスタ/112分  
監督:市川崑  
出演:吉永小百合、大原麗子、  
石坂浩二



十年の歳月をかけて宇野千代が書き上げた昭和文学の古典的名作を、市川崑監督が、前作『細雪』で新たな女優像を獲得した吉永小百合を主演に迎えて映画化。この作品は、出奔心から妻を捨てた男が、芸妓と元妻の間で揺れ動く心の迷いを、やがて迫り来る我が子の水死という因果応報的な世界観とともに描き出している。市川監督が原作を離れて演出したラストシーンにおいて、それまで従順であった元妻が浮かべる不敵な笑みは、独占欲の強い芸妓との性格の違いを解消して、二人がまるで一人の女性であるかのような印象を与える。

主催: (一財)岐阜市公共ホール管理財団/岐阜市/文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター 協賛: 松竹ブロードキャスティング(株) 協力: (株)オーエムシー  
※平成28年度優秀映画鑑賞推進事業の作品「野火」「東京オリンピック」「ぼんち」「おはん」は、1枚のチケットで2作品を鑑賞いただけます。

11/22火・23祝水

## オマールの壁

(パレスチナ)

時間 ①11/22(火) 19:00  
②11/23(水) 14:00

場所 文化センター 小劇場

2013年/パレスチナ/97分

監督:ハニ・アブ・アサド  
出演:アダム・バクリ、  
ワリード・ズエイター、  
リーム・リュエバニ  
配給:アップリンク



※11/23のみ

第66回カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞受賞  
第7回アジア太平洋スクリーン・アワード作品賞受賞  
第10回ドバイ国際映画祭アラブ長編コンペティション監督賞・  
作品賞受賞

### 壁によって分断された街パレスチナ自治区で生きる若者たちの無情な現実

パレスチナにベルリンの壁より高く・厚く・長い分離壁があります。占領下に閉じ込められた厳しい状況下に直面している中、この壁を隔てた主人公オマールと恋人ナディアの純愛青春映画だといえるでしょう。嘘から始まる疑惑・裏切りがスリリングに展開していく中オマールはナディアへの愛を貫き通せるのか?パレスチナ人の誇りを胸に“今を変えたい”想いで戦っていきます。

はたしてオマール自身が持っている壁を乗り越えることができたのか?



## 広河隆一 パレスチナ写真展

11/22火・23祝水

場所 文化センター 小劇場 ロビー

協力:NPO法人 広河隆一非核・  
平和写真展開催を支援する会



11/27日

## 光りの墓

(タイ)

時間 ①10:00 ②14:00

場所 文化センター 小劇場



© Kick The Machine Films / Illuminations Films (Past Lives) /  
Anna Sanders Films / Geißendörfer Film- und Fernsehproduktion /  
Match Factory Productions / Astro Shaw (2015)

2015年/タイ、イギリス、フランス、ドイツ、マレーシア/122分

監督:アピチャップン・ウィーラセタクン  
出演:ジェンジラー・ボンパット・ワイドナー、バンロップ・ロームノイ、  
ジャリンパッター・ルアンラム  
配給:ムヴィオラ

アジア太平洋映画賞グランプリ受賞  
カイエ・デュ・シネマ2015ベスト10 第2位  
ニューヨーク映画祭2015ベスト10 第3位

### わたしはもう目を覚ましたいの。。。 僕はまだ眠っていたいよ。。。 世界を惹きつけるタイの奇才 アピチャップン・ウィーラセタクン、最新作。

これを観ずして今年のアジア映画は語れない。あの「ブンミおじさんの森」でタイ映画に初のカンヌ映画祭パルム・ドールをもたらしたアピチャップン監督が、唯一無二の傑作で再び登場です。かつて学校だった仮設病院で眠る“眠り病”の兵士たち。そこでは過去と今、こちらとあちらが繋がり、死者も神様も鶏も迷える者も、みなが真実の森で光りを探す。アピチャップンの優しく厳しいそのまなざしは、タイを、この世を、私たち人類を、そっと静かに抱きしめる。包まれたなら、目覚めはそう、すぐそこに。劇場で見逃した方は必見。二度目の鑑賞も、お勧めです。



時間 12:15~

## タイ文化講座

「タイの映画〜アピチャップン・  
ウィーラセタクン監督とその作品」

講師 宇戸清治氏(タイ文学者、東京外国語大学名誉教授)  
協力:(公財)日本タイ協会

12/3土・4日

## 岸辺の旅

第68回カンヌ国際映画祭ある視点部門 監督賞受賞  
第89回キネマ旬報ベストテン 日本映画ベストテン 第5位  
第70回毎日映画コンクール 日本映画優秀賞

# Finale

時間 ①12/3(土) 10:00  
②12/4(日) 14:00

場所 文化センター 小劇場

2015年/日本、フランス/128分  
監督:黒沢清  
出演:深津絵里、浅野忠信  
配給:ショウゲート



※12/4(日)のみ  
協力:いしくれ地球

### 「いかないで、きえないで。このままずっと、そばにいて。」

三年間、失踪していた夫が帰ってきた。「…………おれ、死んだよ」そして、妻の知らない時間を訪ねて夫婦の旅が始まる。日常の中で生者と死者が交錯する、不思議でなつかしい世界への訪問、それは二人の最後の旅でもあった。カンヌ国際映画祭の「ある視点」部門で監督賞を受賞した、「世界の黒沢清」の新たな代表作。もう会えない、もう一度だけでも会いたい、そんな胸を締めつけられるような思いは、私たちの誰もが持つ普遍的な感情であり、それゆえに「岸辺の旅」は私たち自身の旅でもある。



© 2015「岸辺の旅」製作委員会/COMME DES CINÉMAS